

千葉県立美術館 千葉市中央区中央港1 - 10 - 1 (043)242 - 8311

1 館の専門性

「みる・かたる・つくる」を運営方針とし、県民の美術への興味や関心に応えるため、鑑賞力を養うとともに、講演会や実技講座などの活動をとおり、総合的な芸術活動を推進します。

近・現代美術及び千葉県ゆかりの美術家や国内外の美術家の作品を体系的に収集し、アート・コレクション展の充実に努めています。

2 展示内容

各種企画展の開催の他、アート・コレクション展では、本館が収蔵する日本画・洋画・彫刻・工芸・書・版画等の広い分野にわたり、種々のテーマに基づいて千葉県ゆかりの美術家の作品や房総をモチーフとした作品をはじめ国内外の優れた美術を紹介しています。

3 総合的な学習の時間への対応

美術について、いろいろな視野から学習することができます。企画展やアート・コレクション展を開催しているので、実物をとおり様々な内容の鑑賞教育が可能。また、千葉県にゆかりのある美術家について知ることができます。情報資料室では美術図書の閲覧やビデオの鑑賞が可能。一日学芸員体験学習やこども等を対象にしたワークショップへの参加ができます。

千葉県立中央博物館 千葉市中央区青葉町955 - 2 (043)265 - 3111

1 館の専門性

千葉県の自然誌を中心に歴史を加えた博物館として設置され、県民の知的需要にこたえ、その生涯学習に貢献し科学の進歩に寄与しています。また、地球的な視野で活動を展開し、国内外の調査研究を中核とし、資料収集、整理保存、展示、教育普及等の諸活動を行っています。

さらに、県立博物館ネットワークのセンター館としての役割を務めています。

2 展示内容

本館展示室は、「房総の自然と人間」をテーマとして、「地学・生物・海洋・生物の分類・歴史・自然と人間のかかわり」の6つの展示室があり、千葉県の様々な分野の知識を得ることができます。

また、体験学習室では、自分で触ったり体験したりして楽しく学べます。生態園では、県内の動植物の自然の姿や生態が観察できます。

3 総合的な学習の時間への対応

地学、生物、海洋、生物の分類等の房総の自然誌を中心に、房総の歴史や自然と人間のかかわり等の環境についても学ぶことができます。また、閲覧コーナーでは、展示されている以外の様々な分野の資料もあり、活用することができます。さらに、各分野の研究員が、課題選択・資料収集・情報の集め方・まとめの講話等、授業への支援を行っています。

千葉県立中央博物館分館海の博物館 勝浦市吉尾123 (0470)76 - 1133

1 館の専門性

当館は、豊かな自然を保つ房総半島の海に直接ふれあえる博物館として設立され、海の自然についての啓発活動である"展示普及活動"と、その基礎となる"資料研究活動"を行っています。

これらの活動をとおして、みなさまに海の自然についての知識や理解を深めていただくこと、千葉県の自然誌研究の発展に貢献することを目指しています。

2 展示内容

房総半島の海に関する基礎的知識を提供するとともに、博物館周辺の自然の様子を紹介しており、「常設展示」、房総の海の自然を紹介する「マリタイムシネマ」の上映、期間限定の企画展示、「マリンサイエンスギャラリー」の三部門から構成されています。これらの展示は、みなさまに自然と接するきっかけを提供することを目的とした内容となっています。

3 総合的な学習の時間への対応

当館では、学校団体を対象にした「海の環境学習研修会」および「野外実習授業」を開催しています。海の環境学習研修会では、先生方を対象に、おもに磯の生きものの観察会等を実施する際に参考となる研修を行います。野外実習授業では、子どもたちを対象にした野外授業、おもに海の博物館またはその周辺での海の生きものの観察や講座等の行事をサポートします。

千葉県立関宿城博物館 野田市関宿三軒家143 - 4 (04)7196 - 1400

1 館の専門性

「河川とそれにかかわる産業」をテーマに、近世以降の利根川水運の盛衰や流域の民族、利根川・江戸川での洪水の脅威や治水・土木工事について展示しています。

また、近世関宿藩についての藩政文書や甲冑・武器類並びに旧関宿城内出土品を展示しています。テーマに即した企画展や講座・講演会など、各種の普及事業を開催しています。

2 展示内容

「近現代の河川改修」「近世の河川改修」「河川交通と伝統産業」「関宿藩と関宿」の4部門で構成しています。川の文化史を体験的に学ぶことができるようになっています。

3 総合的な学習の時間への対応

利根川・江戸川の文化史について学ぶことができます。利根川東遷模型の貸し出しや、利根川・江戸川の図書や映像資料の利用もできます。

1 館の専門性

県内の遺跡から出土した考古史料を収蔵・展示する風土記の丘資料館と県内有数の規模を誇る竜角寺古墳群を中心とする「歴史と自然を学ぶ風土記の丘エリア」、江戸時代後期から明治初期の房総の商家・武家屋敷・農家などを当時の環境を含めて再現した「ふるさとの技体験エリア」で構成されています。

当館は展示や実演だけでなく、来館者が直接体験することによって房総に伝わる伝統芸術や生活様式を学ぶことができる参加型の博物館です。

2 展示内容

歴史と自然を学ぶ風土記の丘エリア（風土記の丘資料館）

第1展示室は「房総の古墳と古代の寺」を展示テーマに、2階回廊展示は「房総半島の生い立ちと旧石器時代の房総」、第2展示室は「原始・古代の生活」という3部構成の展示で構成されています。

また、国指定重要文化財旧学習院初等科正堂、旧御子神家住宅、県指定文化財旧平野家住宅などの歴史的建造物もあわせて公開しています。周囲は78基の古墳が点在しています。

ふるさとの技体験エリア

めし屋・そば屋・川魚の店・菓子の店・お茶の店・呉服の店・小間物の店・本瓦版の店・紙の店・細工の店・畳の店・酒燃料の店・薬の店・瀬戸物の店・木工所・鍛冶屋をはじめとした商家の町並み、武家屋敷、上総・下総・安房の農家、農村歌舞伎舞台の諸施設のほか、田畑などの周辺環境そのものも展示内容としており、これらの時代空間を想定した中で、伝統的な技術や生活様式などを演目(実演、体験)として、年間約350種類展開しています。

3 総合的な学習の時間への対応（小・中学校対象）

上記の通常行われている演目や展示以外に、学校単位、学年単位で体験学習することができるように学校団体体験を実施しています。内容はただ単に製作体験するのではなく、その歴史的民俗的背景等を併せて学習できるものです。さらに、総合的な学習に関して学校側の要望は多岐にわたっているため、これらにできる限り対応できるようご相談に応じています。

高校生が体験希望の場合は、ほぼ同様の体験内容の一般団体体験の用意があります。

千葉県立大利根博物館 佐原市佐原八4500 (0478)56 - 0101

1 館の専門性

「利根川の自然と歴史」,「千葉県の農業」をテーマとする博物館です。このテーマに関する資料のほか,千葉県の北東部にあたる香取・海匝地方など,利根川下流の東下総地域の歴史,民俗,自然などに関する資料を収集,保管,展示し,広く一般に公開しています。

2 展示内容

「利根川の流れ」,「東下総地方の歴史」,「利根川と文化」,「利根川高瀬船模型」,「水郷地域で使用された稲作農具」,「漁具」などを展示しています。屋外展示では,「自然観察園」,「大型排水ポンプ」,「渡船」などを見ることができます。

3 総合的な学習の時間への対応

「東下総地域の歴史」,「低湿地の農業」,「民俗行事」,「利根川下流域の自然」等について学ぶことができます。また,「干歯コキ」や「足踏み脱穀機」,「むかしの道具」などの資料貸出も行っています。

千葉県立総南博物館 夷隅郡大多喜町大多喜481 (0470)82 - 3007

1 館の専門性

「房総の城と城下町」をテーマに房総を中心とした中世から近世にかけての城郭やこれに関する武器・武具・調度・古文書及びこれらを取り巻く人々の生活資料等を展示し,あわせて当時の全般的な調査研究を行っています。また,南総地方の地域博物館として学校及び社会教育機関とも連携をとりながら,地域文化センターとしての役割も兼ね備えています。

2 展示内容

「房総の城」,「城と武士」,「城とその周辺」,「城と城下町」で構成しています。特に,城と武士では「武家の社会と生活」という観点から武器・武具・調度・古文書等房総に関わりの深い資料を展示しています。また,城とその周辺では,城下町の文化と生活等に焦点をあてた資料を展示しています。

3 総合的な学習の時間への対応

「房総の城」,「武家の社会と生活」,「武器武具に関連した工芸」や「総南地方の歴史及び民俗」等について学ぶことができます。また,複製の甲冑による試着体験を行っています。

1 館の専門性

「房総の海と生活」をテーマに、海洋民俗資料や安房地方の文化財を中心とした展示を行っています。なお、本館収蔵の民俗資料のうち、2144点は、「房総半島の魚撈用具」として国の重要有形民俗文化財に指定されており、房総半島沿岸各地に伝わった漁法や習俗を理解するうえで欠くことのできない文化財となっています。

2 展示内容

「漁民の生産活動」・「漁民の生活とくらし」のコーナーで、房総半島の沿岸各地で行われてきたさまざまな漁法や漁に使用された漁具や漁船の展示と、漁師の日常生活や海上での安全と豊魚を祈願する信仰・儀礼や鰹節・海苔などの海産物の加工に使用された道具や船を造る道具などの展示を行っています。

3 総合的な学習の時間への対応

房総半島の漁業について、漁法・漁具の種類と変遷、鰹節・海苔・しめ粕などの水産加工の技術などを学ぶことができます。また、房総の漁民文化や信仰、和船づくりや安房地方の伝統工芸についても学べます。また、13年度から当館に統合となった水産共同実習所の水族館で、魚の生態観察や小講堂で海ホタルの発光実験等もできます。上記の内容で、関連の写真パネルや説明パネルの貸し出しも可能です。

1 館の専門性

「くらしのなかの技術」というテーマで、原始・古代から連綿と続いてきた人々の生活に関する様々な技術について、使用された道具類や作り出された製品などの資料の収集・保管・展示を行っています。中でも上総地方で考案された井戸掘り技術「上総堀り」については、国指定を含む用具等の保存・継承(活用)・調査研究を積極的に進めています。

2 展示内容

人々の生活の中から生まれた様々な技術を「技術のはじまり」「新しい技術とくらしの変化」「村のくらし」「東京湾のくらし」「職人」「はたおり」「水利」の7つのコーナーを設けて展示しています。特に「東京湾のくらし」コーナーではこの地方の基幹産業であった海苔の養殖に関する展示、「水利」のコーナーでは国指定の上総堀り用具を常設展示しています。

3 総合的な学習の時間への対応

学校からの資料貸出の要請に対応するために、館蔵品から貸与可能な資料を抽出し、その内訳を「学校貸与一覧」として作成し、君津地方の小・中学校に配布しております。それらを参考に学校からの要請にその都度対応しています。(上記一覧の改訂版を検討中)

また、上記以外の個別の相談についても極力対応し、例えば「土器づくりの要請」などに対しては、当館友の会の土器サークルの皆様にご協力をお願いするなど博物館・市民(友の会)・学校との相互関係を視野に入れながらの対応を心がけています。

各館共通のお願い

- 1 指導される先生が必ず下見をして、生徒がどの程度の調査・学習活動を行えるのかを確認してください。
- 2 生徒に、公共施設(美術館・博物館)を利用する際のマナーについて指導して下さい。
- 3 展示物を利用した調べ活動以外に、博物館職員に話を聞いたり、図書資料・映像資料等を利用したりする場合は以下のことに気をつけて下さい。
 - (1) 事前に博物館職員にご相談下さい。よいアドバイスができることがあります。また、突然の要望には応じきれないことがあります。
 - (2) 小グループでご利用下さい。多人数ではご利用が難しくなります。
 - (3) 当日の利用団体数やグループ数が多くなりますと、ご希望に応じきれない場合がございます。その時には日程等の調整を行っていただきます。
- 4 詳細につきましては、ご利用の前に各館にお問い合わせ下さい。